

## 訂正 ①

〃 送付版「ガイダンス7」の3行目:

× 2019秋 → ○ 2018秋

〃 送付版「ガイダンス10」の5行目:

何度参加しても8単位まで → ○ 6単位まで

〃 送付版「ガイダンス11」3行目:

× 合計50単位が必須です。 → ○ 合計30単位

## 訂正 ②

- 〃 送付版「機構3」下から12行目(赤字部分)
  - × 2017年度以降に受講の当該講習会は
  - ○ 2018年度以降
- 〃 送付版「機構10」項目
  - × 直近1.5年の取得単位 → ○ 3.5年
- 〃 「機構20」(診断症例一覧表 剖検・CPC):  
8例目から色が塗られていますが、  
8例まで 記載可能です。

診療実績記入用紙はHPからダウンロード、  
wordでの作成が可能です。

## i) 診療実績の証明

組織 100例1単位  
迅速 10例1単位  
剖検 1例1単位 } で最小4、最大8単位を取得します。

- ・ 剖検のみ、迅速のみでも結構です。  
(組織・迅速・剖検のバランスを整える必要はありません)
- ・ 剖検のみの場合は組織・迅速は白紙でご提出ください。  
(迅速のみ、剖検＋迅速のみも同様)
- ・ 更新連続3回以上の方は必須ではなく、  
病理画像問題への解答で代替可能  
(診療実績は0単位で可)

院長ではなく、病理部長・  
病理診断科長の名前です。

(様式 4-1)

診断症例一覧表 剖検・CPC (1例で1単位)

機構 20

※2015年4月以降の保険医療機関の症例に限ります。単位の分割はできません。  
※患者の情報管理に留意すること。保険医療機関が複数箇所の場合は、主たる施設の責任者が署名してください。責任者が本人の場合は本人が署名してください。

鈴木太郎



責任者名 \_\_\_\_\_

No.	年(西暦)/月/日	剖検番号	主病診断名	施設名	主執刀/副執刀/ 指導者
1	2015/8/5	10642	原発性肺高血圧症	東京中央病院	副執刀
2	2015/12/17	10648	脳梗塞・肺癌	同上	主執刀
3	/ /				

自分の剖検時の役割を記入

# 1人病理医を想定した見本

病理部・病理診断科責任者が申請者本人の場合は、本人名を記載し押印

(様式3-1)

## 診断症例一覧表 迅速 (10例で1単位)

機構 16

※2015年4月以降の保険医療機関の症例に限ります。単位の分割はできません。  
 ※患者の情報管理に留意すること。保険医療機関が複数箇所の場合は、主たる施設の責任者が署名してください。責任者が本人の場合は本人が署名してください。

鈴木太郎



責任者名

No.	年(西暦)/月/日	臓器・組織	臨床診断	病理診断	診療施設名	担当医/指導医
1	2015/4/8	胃	胃癌	断端陰性	東京中央病院	担当医
2	2015/4/15	胃	胃癌	断端陰性	東京中央病院	担当医
3	2015/4/22	肺	肺癌	腺癌	東京中央病院	担当医
4	2015/5/1	リンパ節	乳癌	陰性	東京中央病院	担当医
5	2015/5/16	乳腺	乳癌	線維腺腫	東京中央病院	担当医
6	2015/5/23	胃	胃癌	断端陽性	東京中央病院	担当医
7	2015/6/1	肺	肺癌	腺癌	東京中央病院	担当医

全て同じ日付・診断名など正当性が疑われるような書き方は避けてください

3単位必須とありますが、3回連続更新の方は0単位で構いません(病理画像問題への解答で代用可能)

(様式1-3)

単位集計表

機構 10

項目		直近 2.5 年間の 取得単位	更新申請に 必要な単位
i) 診療実績の証明	A 診断症例一覧の提示による 診療実績	0 単位	3 単位以上必須 最大 6 単位
	B 筆記試験	0 単位	A だけでは満たせない 場合のみ実施 1 単位
	A + B	① 0 単位	3 単位以上必須 最大 6 単位
		医療安全 :	

総合計 (①+②*+③+④) *②には必修講習各 1 単位以上が必須です	<b>27</b> 単位	25 単位
---	-----------------	-------

(↓利用する場合はチェックしてください)

- 3 回以上の更新措置利用 (診療実績免除)。ただし、生涯学習受講実績(自己採点した病理画像問題の解答用紙)の提出必須。ガイダンスに従い、生涯学習受講実績(自己採点した病理画像問題の解答用紙)の書類をご提出ください。  
※3 回以上の更新措置を利用しない場合は、診療実績の提出が必要です

**3回連続更新の方は  
病理画像問題への解答で代用し、  
合計27単位で大丈夫です。**

## 3回連続更新の方

(別添資料2)

連続して3回以上資格更新を行った専門医について

機構 26

病理領域において相応の経験を有する専門医の知識・経験を後進の指導に生かす目的で、専門医(学会専門医を含める)が連続して3回更新されている場合、4回目の更新からi) 診療実績の証明を免除(合計~~40~~単位)することができる。

27

今年度は移行期につき、  
本来ならば35単位、  
3回以上更新は27単位で可  
(ただし病理画像問題への解答を要する)